

甲状腺外科検討会・研究会 主題・特別企画など

1

回数	当番世話人	開催地 開催年	施設 数	演題 数	主題	特別企画	備考
1	丸田 公雄	松本市 1968	51	50			会期 1 日、集会後抄録を信州医誌に掲載
2	藤森 正雄	前橋市 1969	52	44	甲状腺の癌、腺腫、腺腫様増殖の境界領域		会期 1 日、抄録の扱いは同上
3	羽田野 茂	東京都 1970	55	40	バセドウ病の手術療法※		会期 1 日、集会前現行様式の抄録集発行
4	江崎 治夫	広島市 1971	62	54		特講: Crile, G. Jr. Indications for surgical therapy in thyroid disease	会期 1 日
5	瀬田 孝一	盛岡市 1972	64	43		病理スライドカンファランス	会期 1 日
6	遠藤辰一郎	福島市 1973	67	65	甲状腺進行癌の治療		会期 1.5 日
7	降旗力男	松本市 1974	76	74		病理スライドカンファランス	会期 2 日(以下同)
8	綿貫 結	東京都 1975	72	68	甲状腺悪性リンパ腫 甲状腺癌の診断法		名簿作成、発行
9	神前 五郎	大阪市 1976	83	94	甲状腺髄様癌※		検討会規約の制定
10	伊藤健次郎	千葉市 1977	90	103	TNM 分類による甲状腺癌の生存率※ TNM 分類の問題点※	特講(10 周年記念): 丸田公雄 甲状腺外科の今昔	甲状腺癌取扱い規約第 1 版発行 智瑤基金設立
11	葛西 森夫	仙台市 1978	156	87	未分化癌と分化癌混在型未分化癌の違い 未分化癌の治療、長期生存例の検討	シンポ: 気管浸潤甲状腺癌の手術 特別発言: Df. Catz	甲状腺腫瘍登録開始
12	和田 達雄	東京都 1979	165	95	上皮小体の外科※ 特別発言: 園田孝夫 血行転移を伴う甲状腺分化癌の治療		
13	中村 卓次	前橋市 1980	160	88	甲状腺分化癌の手術に関する諸問題	特講: 桑原悟 甲状腺リンパ管造影 特講: Taylor, S. Sipple 症候群	
14	藤本 吉秀	箱根 1981	170	83	バセドウ病※ 原発性上皮小体機能亢進症※	MS: 甲状腺癌の手術手技 MS: 甲状腺穿刺吸引細胞診	

15	妹尾 亘明	倉敷市 1982	188	117	腺腫様甲状腺腫の病理診断 腺腫様甲状腺腫の臨床 甲状腺疾患の新しい診断、検査法	特講: 嶋岡勝太郎 放射線障害による甲状腺疾患	
16	矢川 寛一	盛岡市 1983	207	117	甲状腺微小癌	病理スライドカンファランス	甲状腺癌取扱い規約第2版発行
17	阿部 令彦	東京都 1984	214	113	甲状腺腫瘍と腫瘍性病変の機能的側面		
18	小池 明彦	名古屋市 1985	218	120	甲状腺低分化癌 分化癌を伴った未分化癌、扁平上皮癌	特講: Sako, K. Treatment of carcinoma of the thyroid	
19	野口 秋人	別府市 1986	234	157	中等症あるいは軽症分化癌の手術	特講: 中山巖 甲状腺疾患における内因性 PO, TG, T4 の細胞内局在について 特講: 海老原敏 甲状腺 TNM 分類の問題点 特講: 高井新一郎 多発内分泌腺腫瘍症第2型 (MEN-2) に関する遺伝学的研究	
20	飯田 太	松本市 1987	245	113		世報告: 甲状腺悪性腫瘍登録症例の分析 シンポ: パセドウ病の治療 現行甲状腺腫瘍組織分類の問題点	
21	隈 寛二	神戸市 1988	247	158	甲状腺濾胞癌	世報告: 急速増殖性甲状腺腫(未分化癌、悪性リンパ腫)の病理 日本および諸外国の甲状腺癌告知および進行癌の治療方針に関する現況 特講: 藤田尚男 甲状腺は何故に濾胞構造を必要とするか	甲状腺癌取扱い規約第3版発行
22	伊藤 国彦	東京都 1989	271	140	甲状腺腫瘍に関する腫瘍マーカーと免疫組織化学	世報告: 甲状腺癌取扱い規約の組織学的分類の改訂について 特講: 近藤洋一 サイログロブリンとは何か?	
23	泉雄 勝	前橋市 1990	293	123	甲状腺の進行、再発癌の治療	世報告: 上皮小体腫瘍の全国集計(アンケート調査) 特講: 海老原敏 甲状腺悪性腫瘍登録について	
24	的場 直矢	仙台市 1991	296	133		世報告: パセドウ病治療の現況について 教講: 高井新一郎 甲状腺腫瘍研究への分子生物学の応用 病理スライドカンファランス	甲状腺癌取扱い規約第4版発行 会長: 飯田太

25	原田 種一	倉敷市 1992	324	123	二次性上皮小体機能亢進症	世報告: 二次性上皮小体機能亢進症に対する外科的治療について(アンケート調査) 特講: Roeher, HD. The place of surgery for immunogenic hyperthyroidism type Basedow's disease 病理スライドカンファランス	
26	高木 弘	名古屋市 1993	353	103	甲状腺分化癌手術における上皮小体の取り扱い方 甲状腺髄様癌	世報告: 甲状腺分化癌手術における上皮小体の取り扱いについて(アンケート調査) 特講: Niederle, B. Surgical treatment of renal hyperparathyroidism	
27	佐々木 純	盛岡市 1994	354	124	うまくゆかなかった診断、手術、研究の経験	世報告: 甲状腺癌の手術について 特講: 嶋岡勝太郎 放射線被曝と甲状腺疾患 MS: 中国東北地方における甲状腺外科の現状 病理スライドカンファランス	
28	細田 泰弘	東京都 1995	356	118	甲状腺癌の悪性度を規定する因子; 形態から分子生物学的アプローチまで	世報告: MEN2 型の集計 特講: 広橋説雄 癌の発生、進展の分子病理学 病理スライドカンファランス	
29	阿部 力哉	福島市 1996	362	123	甲状腺、上皮小体腫瘍における遺伝子関連因子 甲状腺癌の予後	世報告: 甲状腺癌の 10 年生存率 特講: 栗原英夫 バセドウ病の外科的治療—術後再燃のない手術 教講: 高橋雅英 甲状腺癌における遺伝子異常 病理スライドカンファランス	甲状腺癌取り扱い規約第 5 版発行
30	野口 志郎	別府市 1997	368	168		特講: Tisell, LE. Treatment of hyperparathyroidism 特講: Rosen, IB. Clinical aspects of differentiated carcinoma of the thyroid 特講: Clark, OH. Impact of basic research on the treatment of differentiated thyroid cancer	
31	海老原 敏	柏市 1998	386	114		世報告: 甲状腺悪性腫瘍登録例の予後調査 甲状腺分化癌の治療 Q&A	会の名称変更(甲状腺外科検討会から甲状腺外科研究会へ)
32	松浦 秀博	名古屋市 1999	386	142	今の論点/まだ残る課題	ビデオ: 新しい手術手技、その工夫、私はこうしている	
33	中尾 量保	大阪市 2000	397	138	頸部リンパ節郭清	特講: Demidchik, Yu.E. Thyroid cancer in Belarus after Chernobyl WS: 分化癌における頸部リンパ節郭清	特別展示: 智瑤基金と甲状腺外科研究会 市民公開講座: チェルノブイリ原発事

						WS: 甲状腺外科治療における病理医の役割	故
34	小原 孝男	東京都 2001	395	116	髄様癌 手術手技	世報告: 髄様癌、原発性副甲状腺機能亢進症	
35	高見 博	浜松市 2002	396	171	家族性甲状腺・副甲状腺腫瘍の基礎と臨床	SY: 良性腫瘍をどう扱うか 特企: 内視鏡下甲状腺切除術 特企: Telecommunication による超音波の遠隔診断 WS: 術中迅速 PTH 測定キットの臨床的有用性	ホームページの開設 第 45 回日本甲状腺学会と同時開催
36	永原 國彦	京都市 2003		167	隣接臓器浸潤がんの取り扱いーQOLは維持されているかー	SY: 外科侵襲は甲状腺・副甲状腺機能にどう影響するか WS: 甲状腺外科医と病理医のクロストーク WS: MIBI の有用性と保険適応への道	
37	久保 敦司	東京都 2004			甲状腺疾患診療における放射線科医の役割ー診断・治療の新たな選択ー	特講: Dralle, H. The value of IONM in thyroid surgery 世報告: 本邦における高分化甲状腺癌の治療方針の実態	第 1 回教育セミナー: 甲状腺分化癌の診断から治療まで ①画像診断と放射線治療 ②手術療法と病理診断
38	宮内 昭	神戸市 2005		159	高齢者甲状腺癌 まれな甲状腺腫瘍	特講: 甲状腺腫瘍の新 WHO 組織分類 SY: 高齢者甲状腺癌 世報告: 甲状腺内胸腺腫 (CASTLE) と甲状腺扁平上皮癌	第 2 回教育セミナー: ①甲状腺腫瘍の分子病理の新展開 ②甲状腺手術の周術期管理 ③甲状腺外科に役立つ形成外科的知識 ④巨大甲状腺腫パセドウ病手術のコツ

特講: 特別講演、招待講演

特企: 特別企画

教講: 教育講演

世報告: 当番世話人報告

MS: モーニングセッション

SY: シンポジウム

WS: ワークショップ、パネルディスカッション

主題の※印はアンケート調査結果の討論